

# 「奈良県における住民及び旅行者を対象としたLアラート情報伝達に関する実証事業」

## 奈良県立医科大学（奈良県）

コンソーシアム構成員：奈良県立医科大学、奈良県、近鉄ケーブルネットワーク、こまどりケーブル、ラジオ関西、メイテツコム

### ■実証概要

- 医療機関、ライフライン事業者、自治体が「Lアラート®」に発信した情報を、地域住民、日本人旅行者及び外国人旅行者に迅速に伝わることを実証



### ■実証成果・課題

#### 成果

- 1) 迅速かつ簡便にLアラート情報を発信できるシステムの提供
  - テンプレート入力は、高い評価を得た
  - 電話による代行入力は、有効性が確認できた
  - 医療機関が、現行業務を変えることなく情報を発信できた
- 2) 外国人観光客等の旅行者に防災情報を迅速に提供するシステムの提供
  - CATVで情報を提供し、住民の高い評価を得た
  - ラジオでLアラート情報を放送し、高い評価を得た
  - 外国語に変換するシステムを提供できた

#### 課題

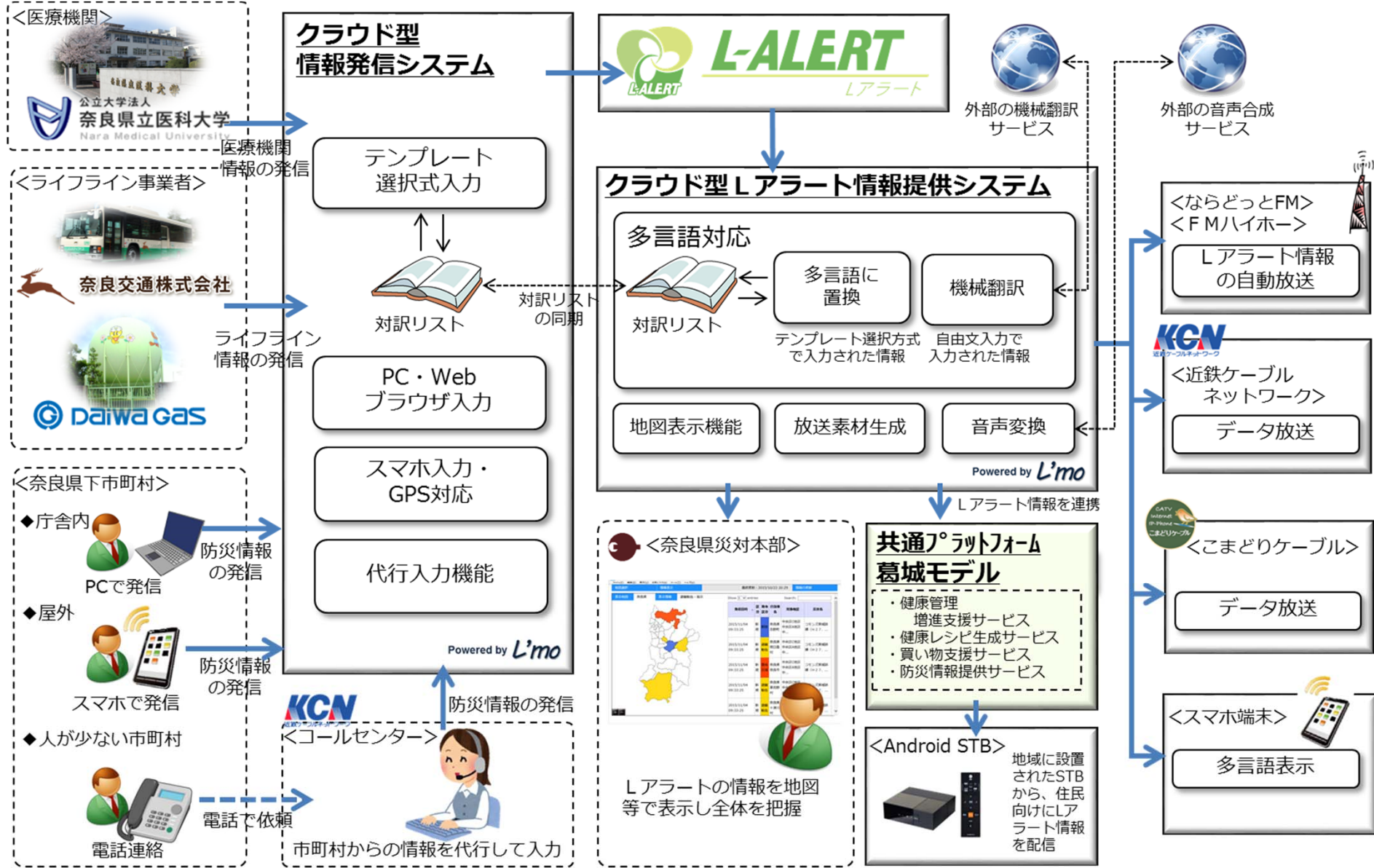
- 1) 迅速かつ簡便にLアラート情報を発信できるシステムの提供
  - 効果的なテンプレートの整備と、分類
  - 電話時に、発信者とコールセンターの間でのルールが必要
  - 医療機関が発信できる情報の整理
- 2) 外国人観光客等の旅行者に防災情報を迅速に提供するシステムの提供
  - 割込み放送システムの運用費の負担
  - 国ごとの、表現方法の工夫
  - テンプレートのマスタ管理方式

### ■実証終了以降の取組内容

- 本事業の成果を奈良県防災システム的设计へフィードバック
- 医療機関としての、情報発信の継続検討
- 奈良県内への関係者へのLアラート啓蒙活動
- その他普及展開活動

# 1. 実証概要

- ・医療機関、ライフライン事業者及び自治体は、災害時情報を「Lアラート入力クラウドシステム」から情報を発信
- ・「Lアラート情報提供クラウドシステム」は、Lアラートから情報を受信し、CATV局、ラジオ局等の様々なメディアに情報を提供
- ・多言語（英語、中国語（簡体）、韓国語）への変換及び音声への変換は、「Lアラート情報提供クラウドシステム」で実施
- ・多言語への変換は、あらかじめ用意した変換リストに基づいて変換



# 2. 実証成果・課題 (迅速かつ簡便にLアラート情報を発信できるシステムの提供)

## <成果>

- テンプレート入力、スマートフォン入力を実現し、高い評価を得た
- 電話による代行入力は、有効性が確認できた

## <課題>

- 効果的なテンプレートの整備と、分類
- 電話時に、発信者とコールセンターの間でのルールが必要



実証実験の様子 (十津川村)

## <画面例(PC版)>

「お知らせ」情報入力画面

文例選択画面

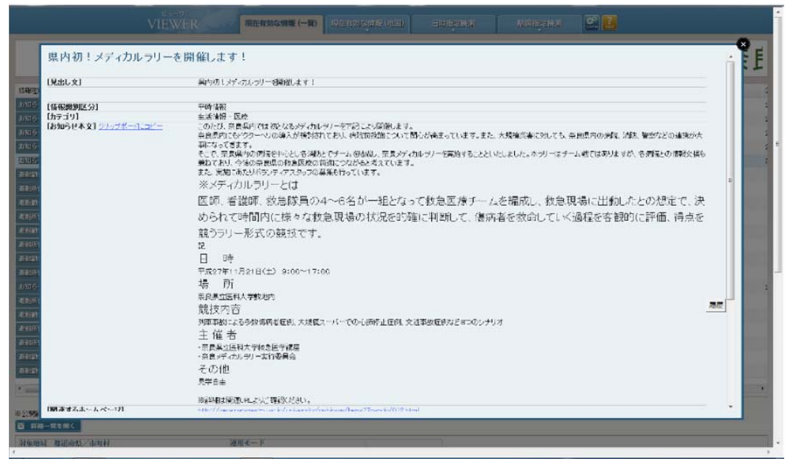
テンプレート入力の様子を動画でご覧いただけます ⇒ <https://youtu.be/t12FDoYIeXg>



# 2. 実証成果・課題 (迅速かつ簡便にLアラート情報を発信できるシステムの提供)

- <成果>
  - 医療機関が、現行業務を変えることなく情報を発信できた
- <課題>
  - 医療機関が発信できる情報の整理

## <既存の広報システムとLアラートの連携>



コモンズビューワー

# 2. 実証成果・課題 (外国人観光客等の旅行者に防災情報を迅速に提供するシステムの提供)

<成果>

- CATVで情報を提供し、住民の高い評価を得た

<課題>

- 住民側STBの設定により、地域の情報が表示されない場合がある

<放送事例>

## 災害時は、「d」ボタンを押さなくても、情報を強制的に表示

◆緊急度が「高」の時(避難勧告・指示)



◆緊急度が「中」の時(避難所開設情報)

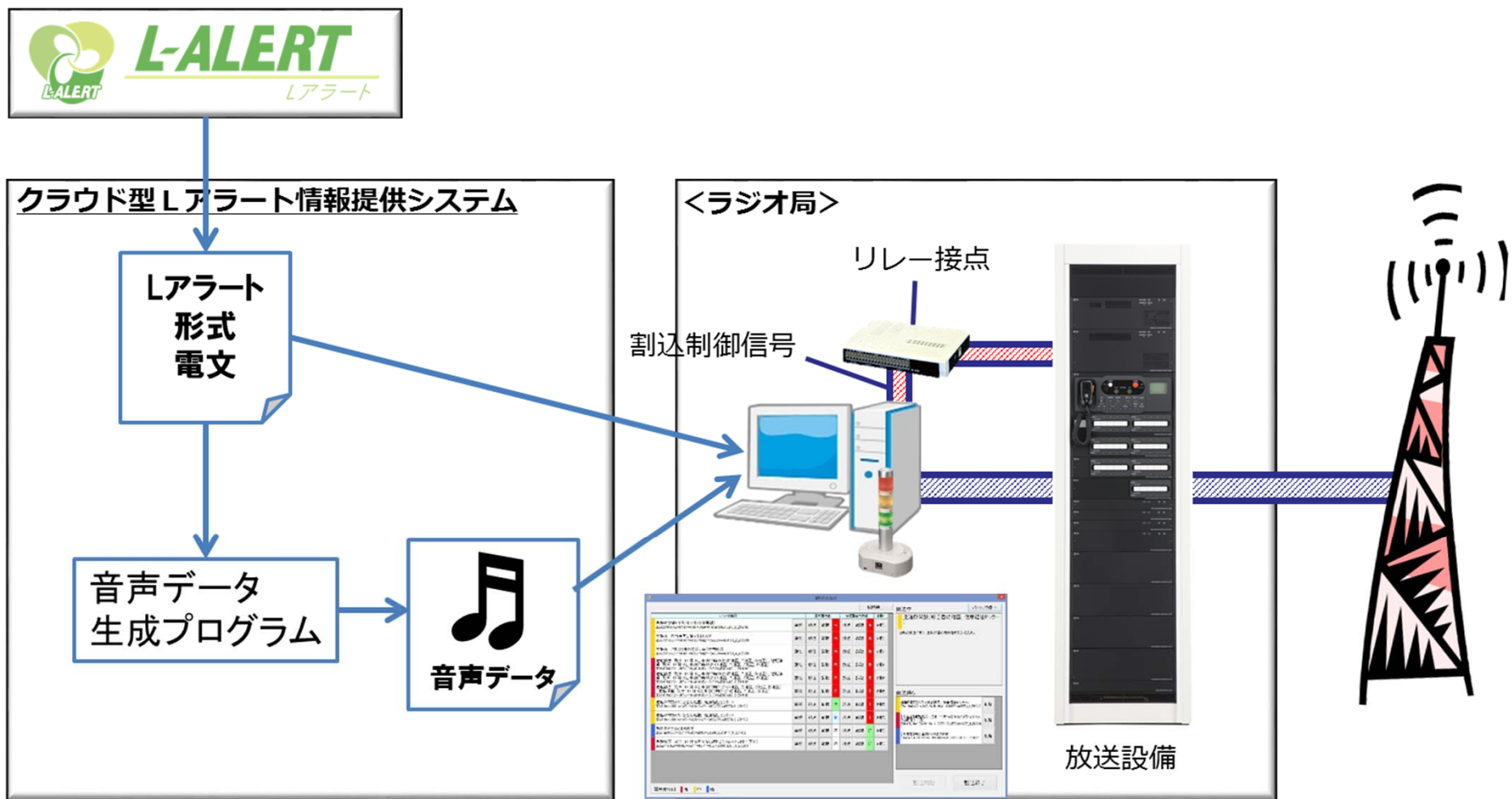


◆緊急度が「低」の時(お知らせ情報)



- <成果>
  - 外国語に変換するシステムを提供できた
- <課題>
  - 割込み放送システムの運用費の負担

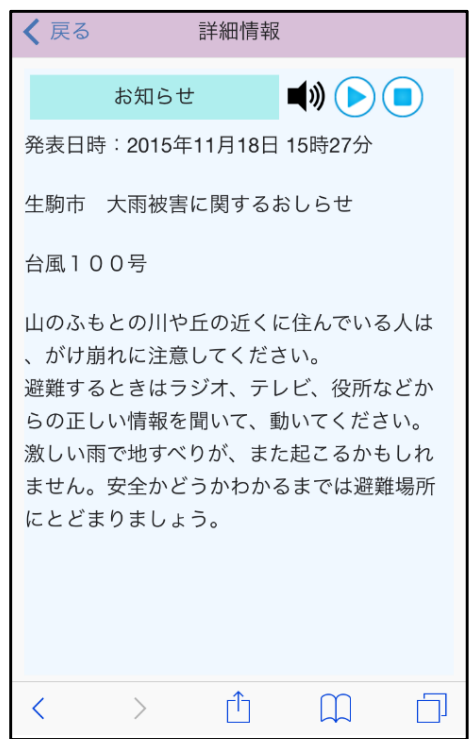
### <システム概要>



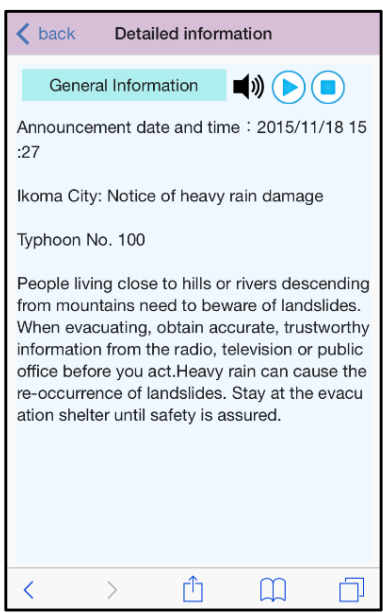
ラジオ放送の実証実験の様子を動画でご覧いただけます ⇒ <https://youtu.be/9EIlTm623DQ>

- <成果>
- ラジオでアラート情報を放送し、高い評価を得た
- <課題>
- 国ごとの、表現方法の工夫

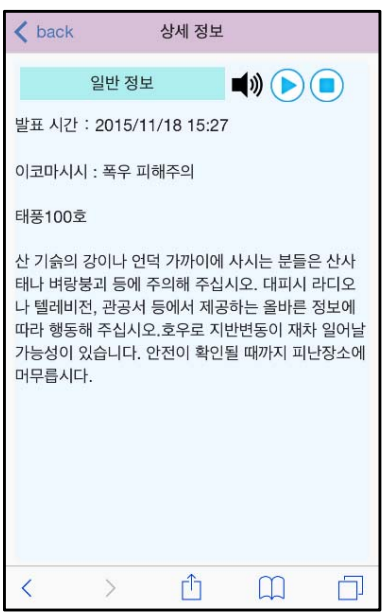
## <多言語閲覧ツール>



日本語



英語



韓国語



中国語



避難所地図表示



### 3. 実証終了以降の取組内容

- ◆ 本事業の成果を奈良県防災システムの設計へフィードバック
  - 実証実験を各自治体や協力事業者のフィールドにおいて実施した結果多くの関係者から実際の運用に対する意見が寄せられ実施を求める声が多かった。ポイント（シート2に記載）
  - 当初の予定通り効果検証において有効性が認められたとの認識で奈良県防災システムへの実装の方向で調整する。
  
- ◆ 医療機関としての、情報発信の継続検討
  - 住民を対象とした実証の結果でも奈良医大に対する要望は、多かった。これらの結果をベースに奈良医大としては、今後もどのような情報を災害発生時及び平常時において発信できるかどうかを継続検討していく。
  - まずは、県内CATV事業者のKCNとの医療情報番組の立ち上げからスタートし医療健康関係の情報発信にLアラートの通常情報ソースを提供していきたい。奈良医大のMBT構想への取り込み。
  - 将来的には、奈良県の公的医療機関ネットワークへの対応も検討していきたい。
  
- ◆ 奈良県内への関係者へのLアラート啓蒙活動
  - 新奈良県防災システムの稼働をH29年度に控え、本システムの実装が確定した上で奈良県と共同で防災システムの整備に関わり県内市町村やインフラ事業者への周知を図り導入を促進させていく。その際には、今回の実証のデータ（ヒアリング動画・アンケート結果など）を有効的に活用し、またシステムの改善も実施する。
  - 奈良県内での地域情報化セミナーなどで本テーマを取り上げ事例紹介を実施。
  
- ◆ その他普及展開活動
  - 他府県のCATV事業者向けのプロモーション活動（総務省・JCTA・通信キャリアなどの協力で実施）
  - JCBA（コミュニティ放送協会）・日本ガス協会・NBA（日本バス協会）など今回の実証事業に協力いただいた事業者所属の組織でのプロモーション活動の依頼など



H27.11.27 成果報告会  
(奈良県橿原市)



## 公立大学法人奈良県立医科大学

部署名 産学官連携推進センター  
担当者名 梅田 智広  
電話番号 0744-22-3051  
電子メール [umeda@naramed-u.ac.jp](mailto:umeda@naramed-u.ac.jp)

## 近鉄ケーブルネットワーク株式会社

部署名 事業本部 IT事業推進部  
担当者名 後藤 浩司、大澤 京子  
電話番号 0743-75-5662  
電子メール [kojigoto@kcn.ad.jp](mailto:kojigoto@kcn.ad.jp), [oosawa@kcn.ad.jp](mailto:oosawa@kcn.ad.jp)

## 株式会社メイテツコム

部署名 事業統括本部 社会情報ソリューション部 第1担当  
担当者名 下谷 幸信、市川 昌史、横山 麻衣  
電話番号 052-589-2201  
電子メール [commons@meitetsucom.co.jp](mailto:commons@meitetsucom.co.jp)